



新潟県包装研究会

- 開催日時：平成27年1月16日(金) 13:00～16:10
- 主 催：公益社団法人日本包装技術協会(JPI)
- 会 場：朱鷺^{とき}メッセ(新潟コンベンションセンター)302会議室(新潟市)

当会では、会員サービスの一環として、年1回、新潟県にて包装研究会を開催しており、毎年地元の会員企業を中心に多くの方にお集まり頂き、好評頂いております。
 本年度のプログラムでは、電子レンジ対応食品包装の最新動向と、国内外の最新事例に学ぶ、デジタル印刷で商品価値を最大化するパッケージ戦略についてご説明いただきます。
 どうぞこの機会に、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

講演プログラム

時間	講演内容
13:00 14:30	<p>テ ー マ：『電子レンジ対応食品包装の最新動向』</p> <p>講 師：包装科学研究所 主席研究員 葛良 忠彦 氏</p> <p>講演内容：現在、女性の社会進出、シングル生活者の増加、高齢化などの社会変化を背景に、種々のタイプの調理食品の需要が着実に増加している。このような調理食品は、電子レンジで加熱して供されるタイプが主流となっている。調理食品の中で、1食分の主菜や副食などがセットされたタイプのもは、レディーミール(ready meal)とも呼ばれている。レディーミールはアメリカで開発され、発展してきたが、国内においても開発・販売が活性化してきた。電子レンジ加熱タイプのレディーミールの販売形態としては、冷凍販売、冷蔵(チルド)販売、常温販売のいずれもが適用されている。本講演では、電子レンジ加熱タイプの調理食品の各種包装技法(冷蔵・冷凍技法、クックチル技法、無菌包装・無菌化包装技法、レトルト包装技法、マイクロ波殺菌包装技法)、それらの包装技法に適用されている包材と電子レンジ対応の各種機構、各種開発商品例および今後の市場展望について述べる。</p>
14:40 16:10	<p>テ ー マ：『国内外の最新事例に学ぶ、デジタル印刷で商品価値を最大化するパッケージ戦略』</p> <p>講 師：日本ヒューレット・パッカド株式会社 デジタルプレスビジネス本部 マーケティング&ビジネスディベロップメント マネージャ 山田 大策 氏</p> <p>講演内容：売れるパッケージとは何か?『売り続ける』ための『新しい何か』をどうやって付加し続けるか?従来の印刷方式がネックとなり実現できなかった多品種少量生産への壁を、『無版』印刷技術が打ち破り、その完成度を高めている。あきらめていたアイデアをカタチに変えたその革新的な技術と、『Relevance(関連性)～自分ごと化』をキーワードにデジタル印刷の活用が拡大する国内外のブランドオーナーの展開事例を中心に紹介する。</p>

開催要領

- 日 時：平成27年1月16日(金) 13:00～16:10
- 会 場：朱鷺(とき)メッセ
新潟コンベンションセンター3F 302会議室
新潟市中央区万代島6-1(案内図参照)
- 参加料：公益社団法人日本包装技術協会の会員の方：無料
一般社団法人新潟県食品産業協会の会員の方：無料
一般の方：一講演につき3,240円(税込)
- 定 員：80名

下記申込書に記入いただきFAXにてお送り下さい。
 お断りする場合のみご連絡します。
 当方より連絡がない場合は直接会場にご来場下さい。



お問合せ・お申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 新潟県包装研究会係 担当:佐藤
 〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
 e-mail:satou@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「平成26年度新潟県包装研究会」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。なお、作成資料は、開催当日、関係者に限り配布する場合があります。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、第三者に開示、提供することはありません。

平成26年度新潟県包装研究会 申込用紙 担当:佐藤(FAX.03-3543-8970) No.

会社名					
所在地	(〒)				
電 話			FAX		
参加者	氏名		所属 役職		e-mail
	氏名		所属 役職		e-mail
	氏名		所属 役職		e-mail
(該当する方に○をつけて下さい) (公社)日本包装技術協会会員 ・ (一社)新潟県食品産業協会会員 ・ 一般					